

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名	伊万里市立大川小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康・体力づくりでは、校内で相撲大会、縄跳び運動で場やカード等を工夫したりしたことで、体作りを推進することができた。積極的に運動する児童が増え、運動技能の向上がみられた。 「のびのびタイム」は、出番・役割・承認の場がきちんと確保され、スムーズに実施することができ、絆を深めることができた。 特色のある学校作りについては保護者から高い評価を受けており、今後も縦割り班を中心とした活動や、児童が主体となった学校行事や地域を素材にした授業等の取り組みを充実させていきたい。 学力向上「チャレンジタイム」の取り組みでは、2学期から条件を意識して書かせるようにしたところ、作文に書き慣れる児童の姿がみられた。 家庭と連携し「家談の日」に取り組んだが、学年に応じた講演などを紹介し、さらに読書の習慣化を図ってきたい。 本校では、人権・同和教育を積極的に推進し、心の教育やいじめの問題に取り組んでいる。しかし、偏った言葉や友達にかけたり、些細なことでもけんかになったりする場面が見られる。特に最近ではトラブルの原因となる言動をインターネット等から影響を受け、使用していることもあり、保護者と連携しながら情報モラル教育を推進していく必要がある。
------------------	---

2 学校教育目標	「元気いっぱい、やさしいいっぱい、知恵いっぱい」の児童の育成
----------	--------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>「元気いっぱい」①健康なからだづくりを意識して取り組む児童の育成</p> <p>「やさしいいっぱい」②人権学習、花いっぱい運動、「心の教育3点セット」の活用等による豊かな心の育成</p> <p>「知恵いっぱい」③小中連携による学力向上の推進</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目			中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上 「知恵いっぱい」	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上。					市丸先生・石橋先生 職員アンケート①②③ 保護者アンケート①
	○小中連携による学力向上対策地域指定事業	○教師全員、年間1回の授業公開を行う。 ○研究指定公開授業(2年次)					市丸先生・石橋先生 職員アンケート②③
●心の教育 「やさしいいっぱい」	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○廊下は右側を歩き、元気なあいさつや通事をする児童の割合が80%以上。					松田先生・山口徹先生 職員アンケート④⑤ 保護者アンケート③④
	●人権・同和教育の充実	○こころのアンケートでは「学校が楽しい」と答える児童の割合が80%以上。 ○共通教材や部活動問題学習の全学年での実施。 ○人権教室の年3回の実施。					車田先生・山口徹先生・山口翔先生 職員アンケート⑥⑦ 保護者アンケート⑤
●健康・体力づくり 「元気いっぱい」	◎縦割り班での異学年交流体験	◎縦割り班(のびのび班)の活動を、共通や掃除、給食の時間などに意図的に仕組みながら交流を進める。					森元先生 職員アンケート⑧ 保護者アンケート⑥
	○食育の充実 ・効果的な保健指導、治療率向上	○食の大切さに対する保護者や児童の意識を高める。 ○全学年で、朝食の喫食率と衛生面の管理(ハンカチの所有、爪を切る等)ができる割合85%以上。 ○健康診断結果に基づくむし歯の治療率を80%以上。					小島先生・中川先生 職員アンケート⑨⑩ 保護者アンケート⑦
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○体づくりの推進、教科体育の充実	○外遊びを呼びかけ、健康で元気な体づくりを推進し、1週間の総運動時間が60分未満の児童が0%。					山口翔先生 職員アンケート⑪ 保護者アンケート⑧
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に定める時間外在校等時間の上限を遵守する。					久浦先生西 職員アンケート⑬
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
○特別支援教育	○支援体制の整備 ○ケース会議での情報共有 ○通常学級の在籍する児童の支援	○児童の正確な実態把握をする。 ○特性を持った児童や個別に支援が必要な児童の共通理解を進める。					松岡先生 職員アンケート⑫ 保護者アンケート⑪

●…県共通 ○…学校独自 ◎…意を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--